

数々の素晴らしい作品を生み出した、日本を代表する童話作家・詩人「宮沢賢治」。

賢治の故郷である花巻で、毎年、彼の作品に想いを寄せるクリエイターやアーティストら多分野で活躍する多彩なゲストが参加し、トーク、ライブなどのパフォーミングアーツや映像作品を通して賢治の作品世界とのつながりを楽しむ場、「イーハートブフェスティバル」が開催されます。

「イーハートブフェスティバル」は、宮沢賢治の原作によるアニメーション映画「セロ弾きのゴーシュ」を監督するなど、賢治の精神と深く響き合う数々の作品を発表した、スタジオジブリの故・高畑勲監督が趣旨に賛同し2014年からスタートしました。

今年は宮沢賢治生誕130年を記念し、高畑勲監督の名作「平成狸合戦ぽんぽこ」の上映をはじめ、これまでフェスティバルに出演いただいたアーティストやクリエイターの皆さんが集結してのトークやライブなど、

賢治生誕130年を祝うスペシャルプログラムの数々で構成されます。

宮沢賢治童話村でのライトアップオブジェの幻想的な光のなか、特別な時間をお楽しみください。

22(土)

二階堂和美 [シンガーソングライター] ジャンルにとらわれない音楽性と類まれな歌唱・表現力で国内外から支持を集めるシンガーソングライター。1999年のデビュー以来、約20作品を発表。代表作は2011年発表のアルバム『にじみ』。最新作は、2026年1月21日発売のアルバム『潮汐』。スタジオジブリ映画『かくや姫の物語』(2013年)では主題歌「いのちの記憶」を作詞・作曲・歌唱。NHK「おかあさんといっしょ」への楽曲提供に「ショキショキション」(作詞・作曲)、「ぎゅーっ はかせ」(作曲:渋谷毅)などがある。著書に『負うて抱えて』(晶文社)ほか。CM歌唱も多数。広島県在住。浄土真宗本願寺派の僧侶でもある。

大塚 愛 [シンガーソングライター] 9月9日生まれ、大阪府出身。2003年9月10日に「桃ノ花ヒラ」でメジャーデビュー。シンガーソングライターとしての活動のほか、イラストレーター、絵本作家、楽曲提供、近年は本格的に油絵制作にも取り組むなど、多彩な表現活動を展開している。2026年9月には、毎年恒例のアニバーサリー&パースデーライブ「大塚 愛 LOVE IS BORN ~23rd Anniversary 2026~」を立川ステージガーデンにて開催。

鈴木敏夫 [スタジオジブリ・プロデューサー] 1948年、愛知県名古屋市生まれ。株式会社スタジオジブリ代表取締役プロデューサー。徳間書店で『アニメージュ』の編集に携わった後、1985年にスタジオジブリの設立に参加。1989年からスタジオジブリ専従。以後ほぼすべての劇場作品をプロデュースする。著書に、『仕事道楽 新版 スタジオジブリの現場』『歳月』(ともに岩波書店)、『スタジオジブリ物語』(集英社新書)など多数。

岩井俊二 [映画監督] 1995年『Love Letter』で長編映画監督デビュー。代表作は『リリイ・シュシュのすべて』『ヴァンパイア』『キリエのうた』等。小説家として『ウォレスの人魚』『番犬は庭を守る』『零の晩夏』等を上梓。2012年、東日本大震災の復興支援ソング「花は咲く」では作詞を手がける。2025年、公開30周年を記念して『Love Letter [4Kリマスター]』が公開。今年9月4日には『スワロウテイル 4K リマスター』が公開予定。国内外を問わず、多彩なジャンルでボーダレスに活動し続けている。

映画『平成狸合戦ぽんぽこ』原作・脚本・監督/高畑 勲 高度経済成長の波に乗った人々は、多摩丘陵を切り開き、ニュータウン建設をはじめた。静かな生活を取り戻すために、タヌキたちは長く忘れられていた「化け学(ばけがく)」を復興させ、これを駆使して人間たちに戦いを挑むことを決意する。全国のさまざまなタヌキ伝説から現実のタヌキの生態までも踏まえた空想的ドキュメンタリー。

23(日)

日食なつこ [ピアノ弾き語りソロアーティスト] 1991年5月8日岩手県花巻市生まれ、ピアノ弾き語りソロアーティスト。9歳からピアノを、12歳から作詞作曲を始める。心の琴線を揺らす、緻密に練り込まれた詞世界や作曲技術が注目を集め、大型フェスにも多数出演。近年では映画主題歌やCM音楽など書き下ろしも多く手がける。

磯野くん [YONA YONA WEEKENDERS] “ツマミになるグッドミュージック”を奏でるメロコア・パンク出身の3人組バンド“YONA YONA WEEKENDERS”のフロントマン。バンドとして、2021年4月7日(ヨナの日)にスピードスターレコーズよりMajor 1st Single「いい夢」をリリース。以後精力的なリリースに加え、荒井岳史(the band apart)、蔡忠浩(bonobos)、原田郁子(クラムボン)、大塚愛などバンドマンならではのコラボワークも話題を呼ぶ。

安藤裕子 [シンガーソングライター] 2003年デビュー。TVCMや映画ドラマの曲を多数手掛けている。2021年TVアニメ『進撃の巨人』The Final Seasonのエンディングテーマ曲「衝撃」をリリース。今もなお国内外にて大きな反響となっている。現在J-WAVEの音楽ラジオ番組 THE UNIVERSEでナビゲーターを担当中。俳優、作家としても活動中。2026年4月短編小説集「一口ちょうだい」刊行。

Salyu [シンガー] 2000年、Lily Chou-Chouとしてデビュー。岩井俊二監督作品となる映画『リリイ・シュシュのすべて』に参加。2004年、Salyu名義でソロデビュー。現在は、さまざまな形態、編成、客演など実演家としての活動を中心に、コラボレーションや自身の研究プロジェクトを通してボーカル表現の新しい可能性を追究している。2026年5月から「Salyu x Lily Chou-Chou Tour 2026 - 星影交差-」が開催中。

Chima [シンガーソングライター] 大阪生まれ、札幌在住。高校の修学旅行で訪れた北海道の空に感動し、北海道の酪農学園大学に進学し、獣医師を目指す。近年ではアートと音楽のコラボも積極的に行い、オランダ、台湾などジャンルや国を超えて活動の幅を広げている。また、自身の活動に加えて映画監督岩井俊二とギタリスト市川和則(羊毛とおはな)とのアコースティックユニット“ikire”や同じ札幌在住のトラックメーカーtuLaLaとのエレクトリックポップユニット“Socca”としても活動中。

映画『銀河鉄道の夜』監督/杉井ギサブロー 病気の母と暮らし、帰らない父を待つ少年ジョバンニ。星祭りの夜、丘の上で一人空を見上げていたジョバンニのもとへ、鉄道が到着する。乗り込むとそこには親友カムパネルラがいた。2人は永遠の友情を確認するかのように旅立つが、やがて別れのときが訪れる。

アクセス



- 東北新幹線、JR釜石線新花巻駅から約2キロメートル、徒歩20分、車で3分
- 新花巻駅からシーナシー行バス(コミュニティバス土沢線)賢治記念館下車徒歩5分
- 花巻駅から道の駅とうわ行バス(コミュニティバス土沢線)賢治記念館下車徒歩5分
- JR東北本線花巻駅から8キロメートル、車で15分
- 東北自動車道花巻ICまたは花巻南ICから9キロメートル、車で20分
- 釜石自動車道花巻空港ICより5キロメートル、車で10分
- 花巻空港から6キロメートル、車で15分
- 駐車場のご案内… 童話村150台(周辺施設Pを含む)臨時駐車場70台。
駐車場の混雑状況は「賢治フェスティバル」公式 Xでお知らせします。
(所要時間と距離はおおよその目安です)

●無料シャトルバス

当日は花巻駅、新花巻駅、臨時P(花巻新渡戸記念館、矢沢野球場)から会場までの無料シャトルバスを運行します。バスは3系統で運行します。

※詳しい時刻表は花巻市HPをご覧ください。
※いずれのバスも途中1時間程度休廃止します。

花巻駅 ⇄ 会場(約15分で到着)	
13:45 花巻駅発	約45分間隔で運行
21:15 会場発(最終便)	

新花巻駅 ⇄ 会場(約10分で到着)	
14:30 新花巻駅発	約20分間隔で運行
21:15 会場発(最終便)	

臨時P(花巻新渡戸記念館・矢沢野球場) ⇄ 会場(約10分で到着)	
14:30 臨時P発	約20分間隔で運行
21:15 会場発(最終便)	

会場

宮沢賢治童話村 岩手県花巻市高松26-19
TEL:0198-31-2211

お問合せ

賢治フェスティバル実行委員会事務局
(花巻市賢治まちづくり課内) TEL 0198-41-3591